



●岩崎浄水場の膜処理施設

飯塚市政 3つの焦点

飯塚市政をめぐる大きな焦点が、4月の臨時議会で、あらためて浮きぼりになりました。「住民が主役」の市政づくりにとって、目をはなすことができません。

不透明さ深まる 鯉田工業団地づくり

鯉田工業団地の用地買収が進まず、昨年12月議会で計上した予算が今年度に繰越になりました。土地所有者の三菱マテリアルが、まだシャモットを掘るといっているのが理由との説明です。市は、「採掘権を認める」などといいます。日本共産党以外の議員からも批判の声が上がっています。

そもそも、この工業団地造成にいくらお金がかかるか、市長が今になっても明らかにしないのは不自然です。

国がやめて5年なのに 同和行政を温存

国は5年前に終結したのに、市は合併前からの予算を温存して、今年度も巨額の同和予算を計上しています。

部落解放同盟や同和会に対する補助金とともに、解放同盟が母体となった団体に対する同和啓発事業の委託金（年間2800万円）もあります。日本共産党は、「別枠の補助金だ」と、厳しく追及しました。

市の退去要請にもかかわらず解放同盟は、穂波人権啓発センターの一室にいすわり続けています。



「町長との協議や指示」 浄水汚職で市が認める

庄内の高度浄水処理施設建設をめぐる、企業の接待をうけていた職員が懲戒処分を受けました。市は議会への報告で、「町長との協議や指示があった」と明らかにしました。

日本共産党は合併前から、「町長の関与」を指摘し疑惑追及を続けてきました。今後、関係者に対する損害賠償請求が求められます。

市民の願いが とどいて実現

日本共産党も議会で要求

●小中学校の職員室に 空調がつけます

保育所と幼稚園に空調をつける予算がつけました。また、旧飯塚の学校の職員室には空調がありませんが、6月議会で審議される当初予算に計上される予定です。川上直喜議員が2年前から議会質問で要求してきました。

●かいた幼稚園の 一部改修はじまる

「シロアリのために、床がぶかぶかで危険」——幼稚園の一部改修が始まります。保護者から要望が出され、安永光恵前市議も議会で取り上げていました。

●コミュニティバス 運行改善が実現

穂波のバスはJR筑前大分駅に乗り入れ、穎田のバスは筑豊ハイツまで走ることになりました。庄内のバスは、高齢者のほかも自由に乗れます。



日本共産党

<http://www.jcp-iizuka.jp/>

議員報酬 日割り分を

▲宣伝活動に

日本共産党市議団は、3月11日当選なのに、ひと月分の議員報酬をもらうことはできないとの立場から、11日分に当たる32万8千円（2人分）を、議会報告活動にあてて、市民のみなさんに還元させていただきたいと思います。この市議団ユース第9号は、そのお金で作成いたしました。